第６学年国語科学習指導案

１　単元名　具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう
「私たちにできること」～社会への提案～

２　単元の目標

○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
（思考力・判断力・表現力等Ｂ（１）イ）

○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。
（知識及び技能（１）カ）

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
（思考力・判断力・表現力等Ｂ（１）ウ）

○身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとする。
（学びに向かう力・人間性等）

３　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。（１）カ	「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。（Ｂ（１）イ） 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（Ｂ（１）ウ）	身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとしている。

４　単元について

（１）主となる言語活動と扱う教材

本単元は、提案する文を書くという言語活動を通して、学習指導要領「Ｂ　書くこと」の「構成の検討イ　筋道の通った文章となるように文章全体の構成を考えることができる。」及び、「考えの形成、記述ウ　目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。」の資質・能力の育成をめざす。第５学年及び第６学年では、文章を書くときに相手や目的を意識することに加えて、説得力をもたせながら、筋道の通った文章となるように文章全体の構成を考えることが求められる。そこで、本単元では、自分の提案を文に書き表し、学校の廊下に掲示するという言語活動を設定する。

学校の廊下に掲示するという目標を設定することで、意欲向上を図るとともに、より相手意識や

目的意識をもち説得力のある文章を書く必要性を感じながら活動できると考えた。自分の身の回りの問題から、提案を考え、自分なりの考えを明確にもちながら構成を意識した文章を書くことのできる児童を育てたい。

そのような児童を育てるために、まず大切にしたいのが、「自分の思いを明確にもつ」ということである。教師主体で「このテーマについて書きましょう」ではなく、自分の思いをもつことのできるテーマを選び、それについて自分の経験や例を用いながら「こうしたほうがよい」という考えを明確にもたせたい。このように児童の主体性を引き出した学習になるようにするために、学習前から、身の回りの問題について目を向ける習慣をつけ、思いを蓄積していく活動を行っていく。そして、書くことに苦手意識をもつ児童も意欲をもって進められるようにしたい。

（２）学習を通して身に付けさせたい力とその手立て

【身につけさせたい力について】

本単元は、新学習指導要領「B　書くこと」の「構成の検討　イ　筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。」また、「ウ　目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。」を受けて設定している。本単元では自分の身の回りの問題をテーマに、その問題について調べ、解決するためにどんなことができるのかを考え、提案する文章を書いていく。その際、身につけさせたいのは、自分の考えが明確に伝わるように、経験や例を出しながら構成を考えて書く力である。

さらには、その前段階で、文章を書く前に、自分の考えを明確にもち、「伝えたい。」「納得させたい。」という意欲をもつことができるという点にも重点を置きたい。あらゆるテーマで自分の考えを明確にもつことができ、それを積極的に表現することのできる児童を育てたい。

【手立てについて】

①ゴール設定の工夫

児童は日常生活で何かを提案する場面があっても、友達間での提案や授業の中での提案にとどまり、実際にその文章が他人に伝わる説得力があるものなのかという感覚がない。そこで今回は提案する文章を書き、学校の廊下に掲示するというゴールを目指す。そうすることで、児童にとって自分の考えを広めることができるという意欲につながると同時に、学校の友達や先生に提案をし、見てもらうためには、より構成を考え自分の考えに説得力をもたせようとすると考えた。

②考えの蓄積

テーマに関する自分の考えを明確にもたせる手立てとして、日常的に自分の考えを蓄積していくことをしていく。具体的には、ギガタブ内でドキュメントを用いて、「こうなったらいいな」「こうしたほうが良いのではないか」と思うことを一人一人が集め、自分の考えを貯めていくという作業をする。項目として「自分のこと」「家庭のこと」「学校のこと」「地域のこと」「社会のこと」「世界のこと」という六つを用意し、提案する文章を書くときに、自分の思いをもって書けるものを選ぶことができるように考えの蓄積をしていくということだ。「何を書けばいいか分からない」と述べていた児童に効果的な手立てだと考える。

③ルーブリック評価の活用

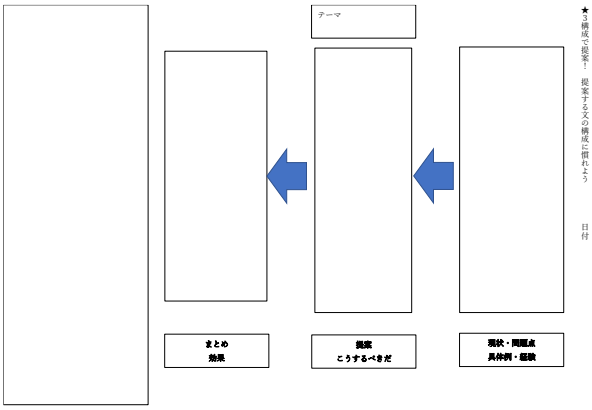
「書く内容が分かれば書ける」や「今日はここまで、明日はここまでという設定があるとよい」

という意見から、ルーブリックでの振り返りを行うこととする。ルーブリックには、児童が各授業の評価基準を把握することで、明確な目標をもって授業に取り組むことができるという利点がある。また、毎回の自己評価をおこなうことで、学習の道筋を意識しながら活動を進めることができる。自分の考えを頭の中で整理して、「書く」活動に取り組むことができる。

（３）単元を支える言語活動

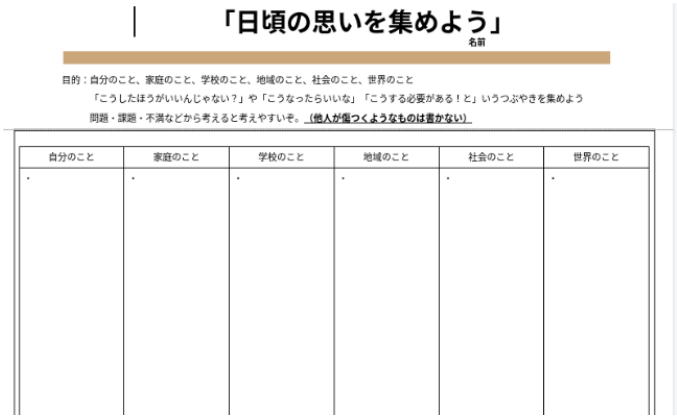
①「３構成で提案！」文章を書く練習

朝の時間を使って、短い文章を書いていく活動をおこなっていく。ワークシートに文章の構成を意識した枠を用意し、そこにメモする形で書いていく。テーマは毎回ちがうものを用意し、初めは文章の形にこだわらず、箇条書きでもよいとし、自分の考えをもち、書き表す作業を繰り返していく。そうすることで文章を書く、ということに慣れ、構成を意識して内容を整理することができる。



②「ギガタブの考えあつめ・根拠探し」～ICT の活用～

ギガタブのドキュメントを配付し、児童は、そのドキュメントに自分のテーマを集め、蓄積していく。他教科でも紙媒体よりギガタブでの作業に抵抗感なく取り組む児童は多い。また、そのテーマに関して調べ活動を行いながらギガタブ上で考えを集めやすいという観点からこのような活動を継続して行っていく。



「日頃の思いを集めよう」

名前

目的：自分のこと、家庭のこと、学校のこと、地域のこと、社会のこと、世界のこと

「こうしたほうがいいんじゃない？」や「こうなったらいいな」「こうする必要がある！と」いうつぶやきを集めよう

問題・課題・不満などから考えると考えやすいぞ。（他人が傷つくようなものは書かない）

自分のこと	家庭のこと	学校のこと	地域のこと	社会のこと	世界のこと
・	・	・	・	・	・

5　児童の実態について（一部省略）

（1）事前アンケートの結果より

（実態を受けて）本単元では、まず見通しをもって活動でき、一時間ごとに目標をもちやすくするために、ルーブリックによる自己評価をおこなっていく。毎時間の目標や目指す姿を意識して活動することで、児童の困り感を軽減するとともに、児童自身が自分を振り返り、よりよい姿を目指していくことができると考えた。加えて、文章の構成についても丁寧に指導していく。「提案するきっかけ・経験」「提案する内容」「効果・まとめ」という三つの構成を意識させ、指導していくことで「書くときの順番が分からない」という児童が減るだろう。また、「なにを書いていいか分からない」という児童に対しては、提案する文章を書くテーマを日頃から集めておき、自分の思いをもちやすいものにするという方法で支援していく。日頃から「なぜ自分はこのテーマについてこうしたほうがよいと思ったのだろう」という思考を訓練することで、提案する文章を書く際に、抵抗感なく取り組めるようにしたい。最後に、「友達と見合ったりするとよい」という意見から、書いた文章を友達同士で見合い、コメントし合う活動を取り入れていく。文章の構成や説得力のある文章になっているかという視点をもちながら、交流することで、自分の文章をよりよいものにできるように学習を進めていく。

（2）これまでの学習より

（実態を受けて）本単元では、理由や根拠を踏まえて書くだけではなく、提案したい事柄をより説得力のあるものにするために、自分の経験や調べた問題点なども示しながら書く力を伸ばすことも目指したい。ワークシートで構成ごとに書く内容を整理して、どのような順番で書いていけば、より説得力があるかについて検討する時間をとっていく。加えて、友達同士で、「この内容をもっと具体的にするとよい」「構成をこのように入れ替えれば伝わりやすい」など、友達同士で助言し合い、よりよいものにしていこうとする時間を多くとっていく。

「書く」ことへの抵抗感をなくしつつ、意味の通る文章を「書く」ことができるようにしていきたい。

6　指導計画（全 10 時間）

次	時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価[評価観点]（評価方法）
第一次	1	○教科書の例文を読んで、提案する文書について関心をもち、学習計画を立てる。 ○次時の学習の見通しをもつ。	・教科書の例文を読んで、感想を出し合わせ、関心を高めさせる。 ・自分たちの提案する文章を学校に掲示するという目的をもたせ、思いをもつことのできるテーマはどんなことかを想起させる。
第二次	2	○作例を読み、文章の構成について確認する。 ○提案するときに使う言葉について確認する。	・説得力ある文章にするための理由や根拠の示し方を捉えさせる。 ・テーマに関する自分の経験や問題点を明確にもつことが大切だということをとらえさせる。 ◇構成や言葉の使い方を理解している。 [知識・技能①] （発言・記述） ◇作例を読み、文章の構成を理解して、提案する文章を書くときに生かそうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度①] （ルーブリック）
	3 4	○提案するテーマについて、問題点を調べたり、自分の提案を整理したりする。 ○ワークシートを用いて、三つの構成を意識して内容を整理する。 ○提案する文章を構成に気をつけて書く。 （自分の集めたテーマの中で、より具体的に書けるテーマを選ぶ。）	・ギガタブに書き込んだテーマから、自分が書きやすいと思うものを選ばせる。 ・問題点に関する自分の提案が適切か、またその提案によりどんな効果が生まれるかを整理させる。 ・ワークシートに書いた内容をただ繋げるのではなく、接続語に注意して、説得力のある文章になるように助言する。 ◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 [思考・判断・表現①] （ワークシート・記述）

	5	○説得力のある文章になっているかについて、友達と助言し合って、他の立場から見直し、書き直す。	・三つの構成要素が含まれているか、構成の順番は適切かなど、より説得力のある文章にするためにはどうすればいいのかを考えながらコメントし合うように助言する。 ◇身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度②] (ルーブリック・観察) ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 [思考・判断・表現②] (ワークシート・記述)
	6 7	○提案するテーマについて、問題点を調べたり、自分の提案を整理したりする。 ○ワークシートを用いて、三つの構成を意識して内容を整理する。 ○提案する文章を構成に気をつけて書く。 (自分の集めたテーマの中で、より具体的に書けるテーマを選ぶ。)	・ギガタブに書き込んだテーマから、自分が書きやすいと思うものを選ばせる。 ・前回の交流から、説得力のある文章を書くために、必要な内容を選んでワークシートに書き込むように助言する。 ◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 [思考・判断・表現③] (ワークシート・記述)
	8	○説得力のある文章になっているかについて、友達と助言し合い、どのような直しをすればよいかについて検討する。	・さらに調べ活動をする必要がある場合には、ギガタブを用いるよう助言する。 ・構成の順番や、言葉の使い方が良い文章を取り上げ、推敲する観点をもてるようにする。 ◇筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 [思考・判断・表現④] (ワークシート・記述)

	9 本 時	○友達から助言された内容を生かしながら書き直しをする。 ○全体で友達の書いた文章を見て回り、付箋を使って、感想を伝え合う。	・提案したいことが明確に伝わるような文章の構成になるように、読み直しながら書かせるようにする。 ・友達の書いた文章のどの部分が工夫されているかを考えて読み、コメントし合うように助言する。 ・文章のよいところを中心に伝え合わせ、できるようになったことを児童自身が感じられるようにする。 ◇身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度③] （ルーブリック・観察） ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 [思考・判断・表現⑤] （ワークシート・記述）
	10	○学習を振り返る。 ○学習前に行ったアンケートを、学習後にも行う。	・できるようになったことを中心に、振り返らせ、「書く」ことへの抵抗感を薄めさせる。 ・これからの「書く」学習でも構成を意識して書くことが大切であることを確認する。

7　本時の目標と展開（9／10）

（1）本時の目標

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

（思考力・判断力・表現力等Ｂ（1）ウ）

○身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとする。

（主体的に学習に取り組む態度）

（2）展開

学習活動	指導や支援の手立て ◇評価[評価観点]（評価方法）
1　前時を振り返り、本時の学習課題を捉える。	・本時の書き直しがスムーズに行えるように、前時にもらった友達からの助言を振り返らせる。
文章の構成を考えて、説得力のある提案文を書こう。	
2　提案文の構成を全体で確認する。 ・三つの構成、「「提案するきっかけ・経験」「提案する内容」「効果・まとめ」」で書きましょう。 ・より説得力のある文章を書くために、具体的な事例や経験を入れて書きましょう。	・より説得力のある文章にするために、提案文の構成の面からもう一度見直させる。 ・具体的な事例や経験を入れながら、意味の通った文章となるように、接続語などの言葉も整理する。
3　友達から助言された内容を生かしながら書き直しをする。	・提案したいことが明確に伝わるような文章の構成になるように、読み直しながら書かせるようにする。 ◇身の回りの問題から、自分たちにできることは何かを考え、提案する文章を粘り強く書こうとしている。　[主体的に学習に取り組む態度] （ルーブリック（授業後）・観察） ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 [思考・判断・表現] （ワークシート・記述）
4　全体で友達の書いた文章を見て回り、ジャムボードを使って、感想を伝え合う。 ・三つの構成が書かれているかな。 ・具体例や経験で、説得力を増す提案になっているかな。 時間があれば、全体で共有する。	・友達の書いた文章のどの部分が工夫されているかを考えて読み、コメントし合うように助言する。 ・文章のよいところを中心に伝え合わせ、できるようになったことを児童自身が感じられるようにする。
5　本時の振り返りをする。 ・ルーブリックとノートで振り返る。	・学習前に書いた提案文と自分の提案文を見比べ、どんなことができるようになったかを確認させる。

ワークシート

★3構成で提案！　提案する文の構成に慣れよう　　日付

テーマ

現状・問題点
具体例・経験

提案
こうするべきだ

まとめ
効果

「日頃の思いを集めよう」

名前

目的：自分のこと、家庭のこと、学校のこと、地域のこと、社会のこと、世界のこと

「こうしたほうがいいんじゃない？」や「こうなったらいいな」「こうする必要がある！と」いうつぶやきを集めよう

問題・課題・不満などから考えると考えやすいぞ。**（他人が傷つくようなものは書かない）**

自分のこと	家庭のこと	学校のこと	地域のこと	社会のこと	世界のこと
・	・	・	・	・	・

私だけのポートフォリオ

自己評価の旅～目指す自分に向かって～

・目指す自分の姿□□□□□□□□□□□□□□□□□□□名前

つなぐ	説明文の例を見て、文章の構成を理解したので次の手順にそってつなぐことができた。 文章の構成を意識して、書いてみたい。	説明文の例を見て、文章の構成を理解したので次の手順にそってつなぐことができた。	説明文の例を見たけれど、文章の構成がまだまだ理解できなかった。もっと構成を理解したい。
⑤⑥	A	B	C
知る	説明文の構成や、文を書く前の言葉の使い方を理解できた。 具体的に言葉をどう使ったら文章を書けるかイメージできた。	説明文の構成や、文を書く前の言葉の使い方を理解できた。	説明文の構成や、文を書く前の言葉の使い方をあまり理解できなかった。もっとかけや、具体例を書く前の言葉を理解したい。
⑤⑥	A	B	C
書く	読者の分かりやすい文章になるように、文章全体の構成 1□説明のきっかけ 2□説明内容 3□効果□まとめ それぞれの要素を考えながら活動できた。 文を書く前に、きっかけや、具体例を書く前の言葉（例□例えば、具体的には、以上のことから）に気をつけて書けた。	読者の分かりやすい文章になるように、文章全体の構成 1□説明のきっかけ 2□説明内容 3□効果□まとめ それぞれの要素を考えながら活動できた。	読者の分かりやすい文章になるように、文章全体の構成 1□説明のきっかけ 2□説明内容 3□効果□まとめ それぞれの要素をもっと意識すればよい文章が書けそうだ。
⑤④ ⑥⑦⑧	A	B	C

私たちにできること

自己評価の旅～目指す自分に向かって～

・目指す自分の姿□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□名前

書く	説得力のある文章になるように、書き方を意識できた。 自分の意見と、経験やきっかけなどを区別して考えながら書けた。	説得力のある文章になるように、書き方を意識して書くことができた。	説得力のある文章になるような、書き方が意識できなかった。友達の意見もよく聞いて、より分かりやすい文章にしていきたい。
⑤,⑨	A	B	C
つなぐ	自分で決めたテーマについて、提案する文を書こうと思った。 友達の助言を生かして、分かりやすく書こうと思った。	自分で決めたテーマについて、提案する文を書こうと思った。	自分で決めたテーマについて、提案する文を書こうと思いたい。
⑤⑨	A	B	C

	書く	知る	つなぐ	
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				

私たちにできること

自己評価の旅～目指す自分に向かって～

・目指す自分の姿□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□名前

この単元で、目指す自分の姿には近づけたかな？
できるようになったこと、分かるようになったことなどをふまえて
ふり返りを書きましょう。

□